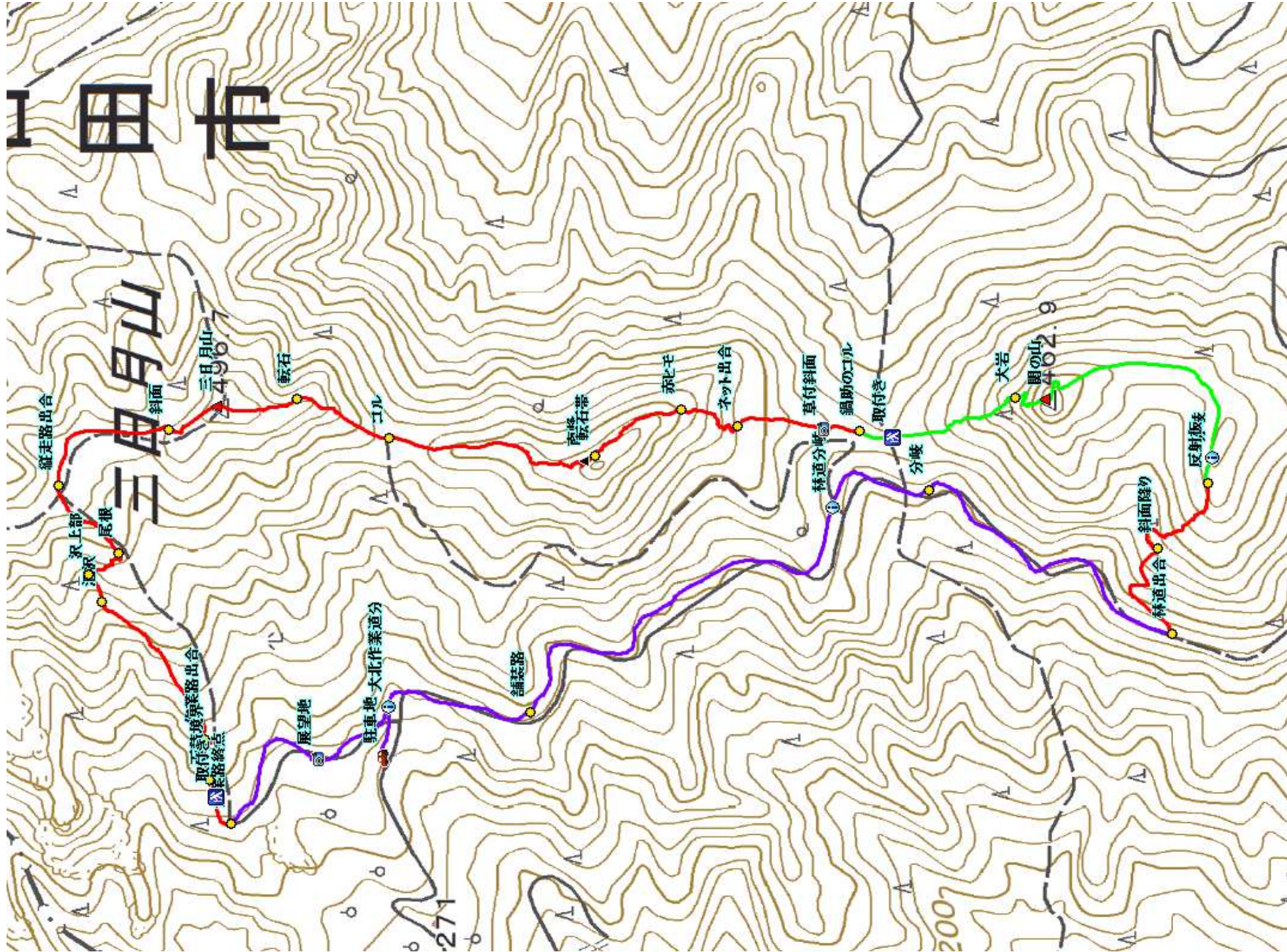


190212 みかづきやま 三日月山(497m)/関の山(463m) せきのやま

4.9 km 2時間46分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです。



- 駐車地
- ↓ 0:11
- 作業路終点
- ↓ 0:18
- 湊沢
- ↓ 0:09
- 尾根
- ↓ 0:06
- 縦走路出合
- ↓ 0:10
- 三日月山(497m)
- ↓ 0:23
- 南峰(472m)
- ↓ 0:22
- 鍋助のコル
- ↓ 0:20
- 関の山(463m)
- ↓ 0:07
- 反射板
- ↓ 0:14
- 林道出合
- ↓ 0:12
- 林道分岐
- ↓ 0:14
- 駐車地

— : 一般路  
— : 難路  
— : 林道・作業道



三日月山(497m)/関の山(463m)  
2019.02.12(火)晴れ

駐車地～作業路終点～涸沢～尾根～縦走路出合～三日月山(497m)～南峰(472m)～鍋助のコル～関の山(463m)～反射板～林道出合～林道分岐～駐車地



林道脇の駐車帯に駐車し東へ向かう。



直ぐに大北作業道分岐に出会い左折する。



緩やかに作業道を登って行く。



左側が開けた展望地があり、久留米方面が望まれる。



猪畏を見る。



作業道終点は広場となっている。右の作業路へ入る。



直ぐに右に取付きを見る。弱い踏み跡がある。



スギ植林地に石積境界と赤杭を見る。



左から上がってきた作業路に出合う。





ヒノキ植林地を緩く登って行く。



石積境界と赤杭を通過する。



斜面を緩く登って行く。



涸沢が現れた。



沢上部が倒木で閉塞しているので、右斜面に取付く。



鈍頂の尾根筋に登り上がり、植林際を登って行く。



傾斜も緩み前方が明るくなる。



縦走路に出合い、尾根筋を進む。



植林地に行く。





斜面を緩く登って行く。



弱いササを抜ける。



三日月山(497m)の山名板を見る。



二等三角点:杖立山が設置されている。



西方向、樹木越しに山麓が望まれる程度で、展望は得られない。



南へ向かうと尾根筋の転石を見る。



ヤブの奥に閑の山が垣間見える。



緩く降るとコルとなる。



コル東側に夫婦木を見る。



尾根筋の植林帯を行く。





左に転石を見て通過する。



植林際に沿って斜面を登る。



南峰(472m)の山頂の大岩。



三日月山を振り返る。



転石帯を通過する。



ササ混じりの緩斜面を降る。



赤ヒモに出会いササを漕いで降る。



下に林道が見え、強引にヤブ漕ぎする。



突然ネットに出会い、これに沿って降る。



ネットを抜けると草付斜面となり耳納の展望が得られる。



鍋助のコルの案内板。



南峰を振り返る。



関の山への取付きは植林際に沿って踏み跡を辿る。





古い赤テープが残る植林内の弱い踏み跡を辿る。



境界標を見る。



前方に大岩が見えた。



前方が開けてきた。



展望台が現れた。



三日月山展望台の案内板。



四等三角点：関山が設置されている。案内板は、三日月山と称しているが三角点名に因み関の山(463m)とする。別名：鍋助山とも呼ばれた入る。



丸田組の展望台に上がる。



西の展望。



下の展望台。



下の展望台から東の展望。





平坦な作業路を南へ向かう。



古屋敷への分岐に出会う。



九州電力の三日月山反射板を見上げる。



黄色テープを辿って西へ植林地の斜面を降る。



ガレ場の斜面を降って行く。



下に林道が見えた。



獣道を辿って林道に出会う。



降りて来た方を振り返る。



林蔵を道なりに進む。



下りの分岐に出会うが、右へ進む。



前方に伐採斜面と南峰が見えた。



林道分岐に出会い、直進する。





関の山を振り返る。



道なりに林道に行く。



舗装路となった。



前方に大北作業道が見えて来た。



駐車地に帰っていた。



マンリョウ